

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(43110)		
<b>時間割担当</b>	増井眞樹		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 選択
<b>曜日・時限</b>	木・3		

### 授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

十数年間の生活や学びの中から、自分の生き方・考え方を見つめなおし、これからの生き方・考え方の指針となるものについて考え、自分らしい生活、よりよい社会、持続可能な環境を創りだす資質を培う。

### 学習の到達目標

西洋・東洋の哲学者及びその時代に影響を与えた主な人物の功績を知る。

自分が共感する生き方・考え方の人物に焦点を当てて、資料収集する。

道徳教育の内容項目とのかかわりについて分析する。

最終的に、自分自身がまとめたものが自分の考え方・生き方につながるような成果物を期待する。

### 授業方法・形式

メンバーを2～4名の小グループに組織する。

学生が主体的に、テーマを設定し、最終的成果物の形式を決定し、計画的に推進する。

関係書籍・資料を収集する。

読書後、交流し、物の見方考え方を深める。

### 授業計画

第1回 ガイダンス、「人間教育ゼミナール」の意義と目標

第2回 研究テーマ設定と計画

第3回～第9回 書籍・資料の収集・分析・交流

第10回 中間発表と課題

第11回 課題解決に向けた修正案作成

第12回～第15回 書籍・資料の収集・分析・交流

第16回～26回 成果物の原稿作成

第27回～第29回 成果物の完成

第30回 まとめ

### 成績評価の基準

主体的な授業参加，計画推進，プレゼンテーション，成果物等を総合的に評価する。

### 授業時間外の課題

文献購読，資料収集

### メッセージ

為せば成る。為さねば成らぬ。何事も。成らぬは人の為さぬなりけり。

### 教材・教科書

### 参考書